

# 公開実用 昭和63- 89924

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭63-89924

⑬ Int. Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和63年(1988)6月10日

A 42 B 3/00  
A 42 C 8/04

6704-3B  
6704-3B

審査請求 未請求 (全 頁)

⑮ 考案の名称 ヘルメット

⑯ 実 願 昭61-181192

⑰ 出 願 昭61(1986)11月27日

⑱ 考 案 者 田 辺 伸 群馬県桐生市浜松町2-7-38

⑲ 出 願 人 田 辺 伸 群馬県桐生市浜松町2-7-38

⑳ 代 理 人 弁理士 稲垣 仁義



## 明 細 書

### 1. 考案の名称

ヘルメット

### 2. 実用新案登録請求の範囲

ヘルメット本体を、鋳と一体的に構成した内側部と、該内側部と間隔つけて保持させた外側部とから構成し、前記内側部に多数の通気孔を穿設したことを特徴とするヘルメット。

### 3. 考案の詳細な説明

#### 「産業上の利用分野」

この考案は、着用時に頭部に蒸れを生じさせることなく、頭部全体に空気が回るようにしたヘルメットに関するものである。

#### 「従来技術及びその問題点」

周知のようにバイクに乗る場合には、ヘルメットを着用するが、特に夏には着用時に頭部に蒸れを生じ、これが女性の場合、髪の毛が汗でベタンコになる等の問題があった。

しかして、ヘルメットに単に通気孔を穿設したのでは、降雨時の着用に於いて、防水性を損する



ことになる。

この考案は、防水性を損することなく、通気性を付与させたヘルメットを提供することを目的とする。

「問題点を解決するための手段」

上記目的に沿う本考案の構成は、ヘルメット本体を、鋳と一体的に構成した内側部と、該内側部と間隔つけて保持させた外側部とから構成し、前記内側部に多数の通気孔を穿設し、鋳の上方から空気を取り入れ、頭部全体に空気が回るようにしたことを特徴とする。

「実施例」

次に、本考案の実施例を図面に基づいて説明する。

第1図は本考案の実施例を示す斜視図で、鋳と一体的に構成した内側部1に、スペーサー（図示せず）を介して外側部2が固定されている。

内側部1には、多数の通気孔3が穿設されており、鋳の上方から入った空気が、通気孔から頭部全体に回るようにし、ヘルメット内の熱気の外方



への流出をスムーズに行なうようにしている。

#### 「考案の効果」

本考案のヘルメットによれば、頭部を涼しく爽快にし、女性の髪も汗でベタンコにならず、暑さのための事故も防げるから、特に夏季暑い地方、暑い国で着用するのに非常に適している。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は、本考案の実施例を示す斜視図、第2図は本考案の断面図、第3図は、本考案のヘルメット内側部の斜視図である。

図中、

- 1 … ヘルメット内側部、2 … ヘルメット外側部、
- 3 … 通気孔

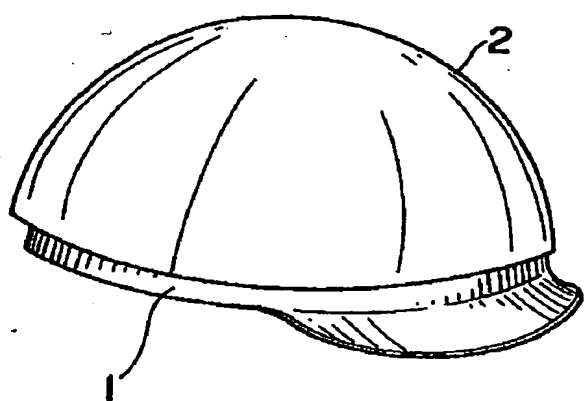
実用新案登録出願人

田 辺 伸

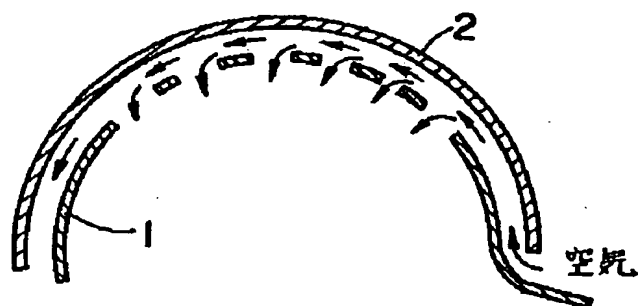
代理人弁理士

稲 垣 仁 義

第 1 図



第 2 図



第 3 図

